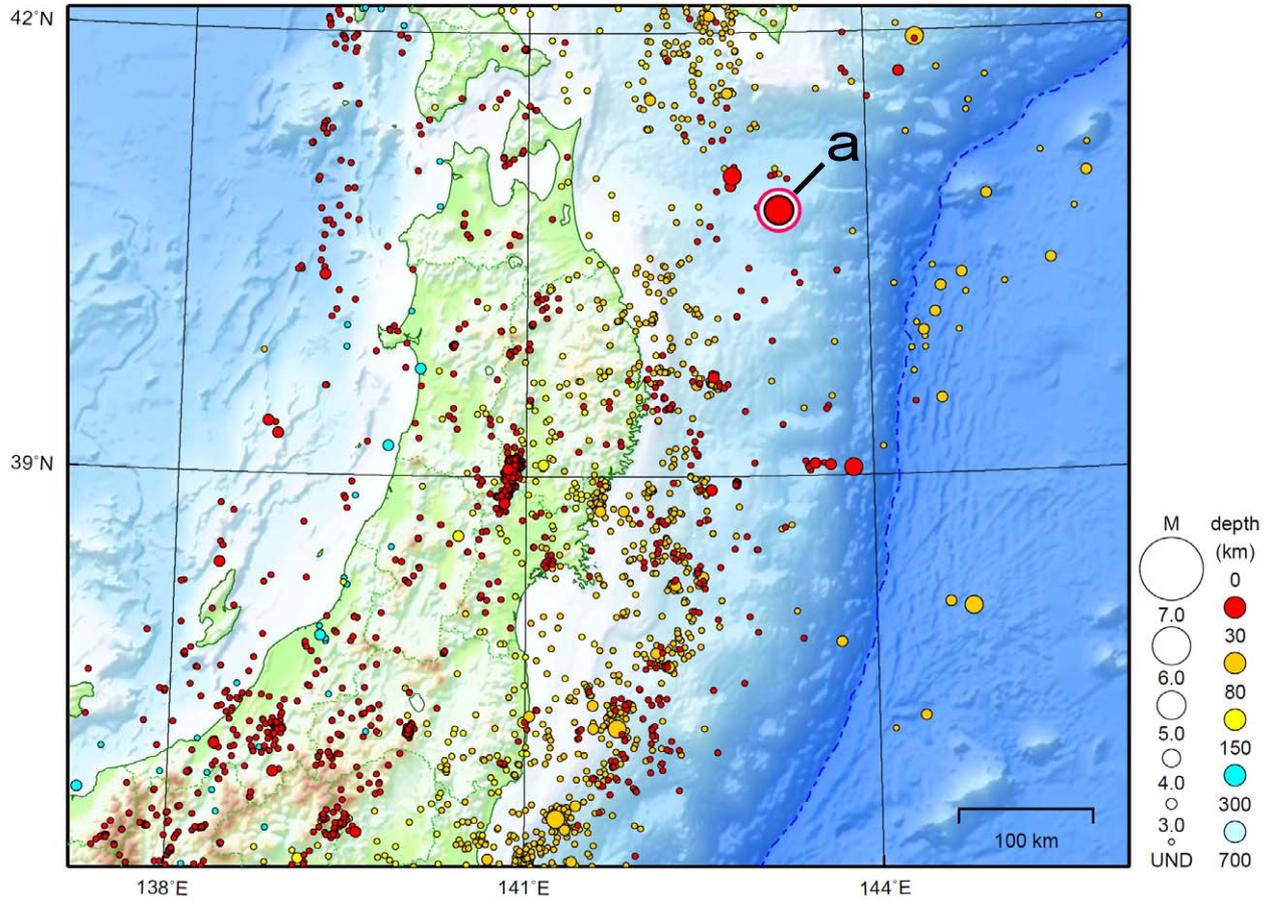


東北地方

2010/12/01 00:00 ~ 2010/12/31 24:00

N=2538



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

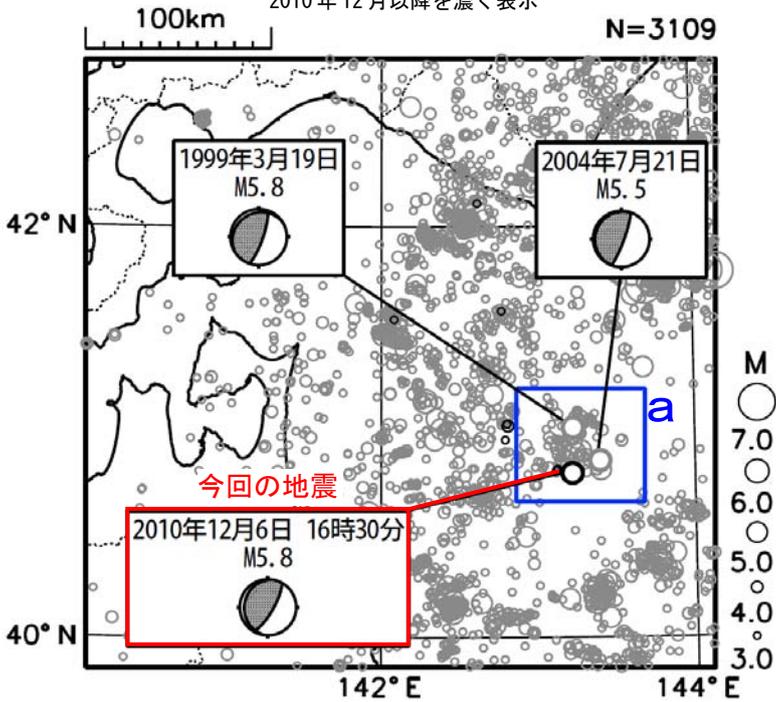
a) 12月6日に青森県東方沖で M5.8 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

12月6日 青森県東方沖の地震

震央分布図(1997年10月1日~2010年12月31日、
M \geq 3.0、深さ0~120km)

2010年12月以降を濃く表示

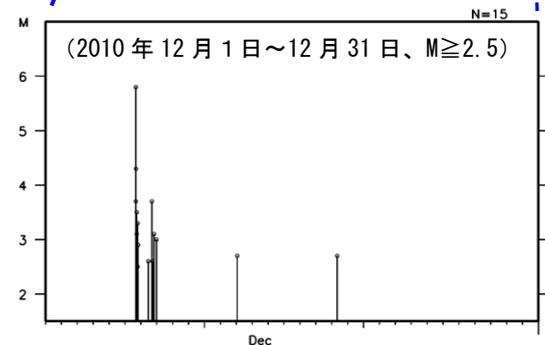
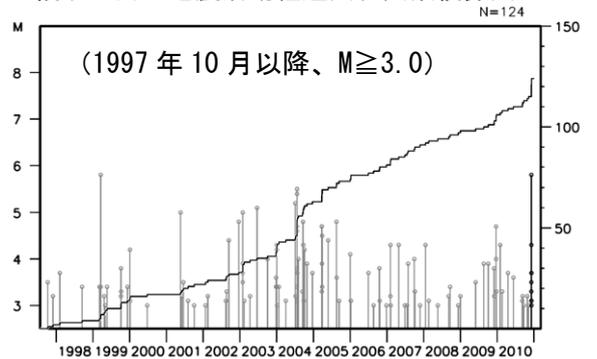


※発震機構はCMT解を表示

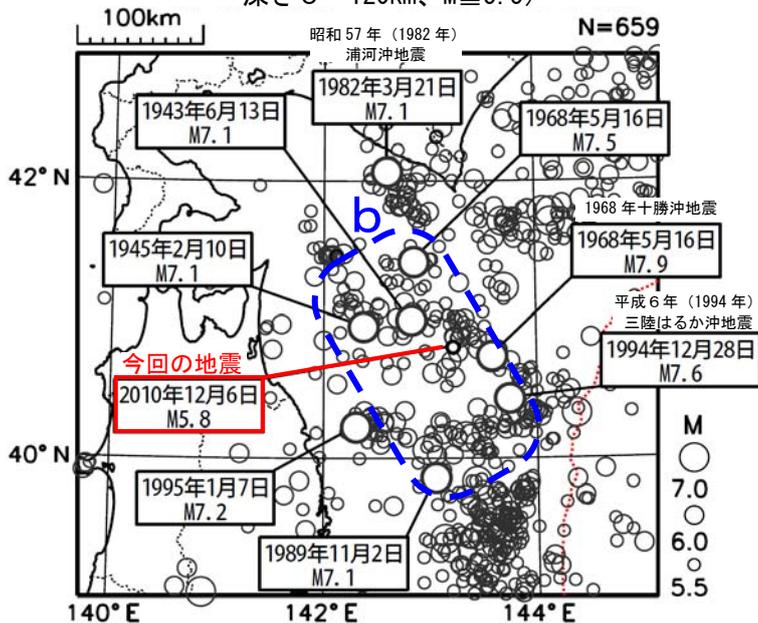
2010年12月6日16時30分に青森県東方沖でM5.8の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震と考えられる。余震活動は収まっている。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、1999年3月19日のM5.8の地震(最大震度3)など、M5.0以上の地震が度々発生している。

領域a内の地震活動経過図、回数積算図



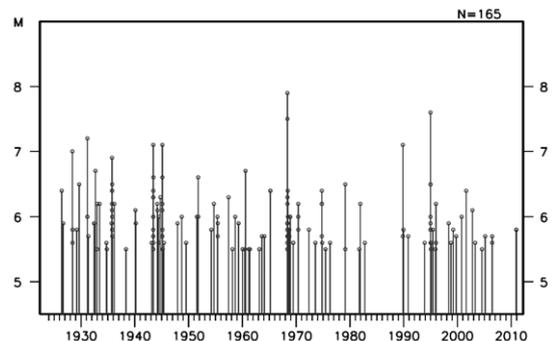
震央分布図(1923年8月1日~2010年12月31日、
深さ0~120km、M \geq 5.5)



領域b: 三陸沖北部のプレート間地震の想定震源域
(地震調査委員会による)

1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が度々発生している。「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)では、死者52人、負傷者330人などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図



気象庁作成